

輝く！紀の国の教育

和歌山県教育広報紙をリニューアルしました!

和歌山県教育広報紙は、発行から10年の節目をむかえ、今年度から「輝く！紀の国の教育」と名称を変更しました。

今年度は、全国高等学校総合体育大会、紀の国わかやま国体、紀の国わかやま大会の開催と、和歌山がひとときわ輝く年であり、「紀の国の教育」を未来に向かって輝き続けさせたいという思いを込めて名付けました。

名称の変更だけでなく、紙面構成の見直しを行い、よりわかりやすくお伝えできるようリニューアルしました。

全国高等学校総合体育大会

総合開会式
7月28日(火)
和歌山ビッグホエール



総合開会式(歓迎演技)
練習風景



陸上競技
7月29日(水)~8月2日(日)
紀三井寺公園陸上競技場

剣道
8月3日(月)~8月6日(木)
和歌山ビッグホエール



特集

まもなく開幕!
スポーツの祭典



ヨット
8月12日(水)~8月16日(日)
和歌山セーリングセンター



風になれ今青春が走り出す
2015 君が創る 近畿総体
7月28日(火)~8月20日(木)

平成27年度 全国高等学校総合体育大会

高校スポーツ最高・最大の祭典「全国高等学校総合体育大会(インターハイ)」と、わが国最大の国民スポーツの祭典「第70回国民体育大会」・「第15回全国障害者スポーツ大会」が、いよいよ間近にせまってきました。和歌山県では、多くの子どもたちが、開会式のプログラムや手作り記念品を製作するなど、様々な工夫を凝らしてスポーツの祭典を成功させるための準備を行っています。みなさんも応援よろしくをお願いします。



2015 紀の国 わがやま国体
第70回国民体育大会 躍動と歓喜、そして絆
7月27日(月)~28日(火) 10月24日(日)~26日(火)
2015 紀の国 わがやま大会
第15回全国障害者スポーツ大会 躍動と歓喜、そして絆
7月27日(月)~28日(火) 10月24日(日)~26日(火)

特集

スポーツの祭典

まもなく開幕!

全国高等学校総合体育大会(インターハイ)

いよいよ、高校スポーツ最高・最大の祭典「全国高等学校総合体育大会(インターハイ)」が間近にせまってきました。

今年のインターハイは、近畿6府県で30競技を開催します。和歌山県は幹事県として、総合開会式と陸上競技・剣道・ヨットの3競技を開催します。

大会愛称「2015 君が創る 近畿総体」のもと、選手だけでなく支援する高校生も大会に積極的にに関わり、若いエネルギーを燃焼させる、心に残る大会にしたいと考えています。

現在、本県の高校生は、総合開会式での歓迎演技の練習をしたり記念品を製作したりするなど、全国から集まる選手をお迎えする準備を行っています。

インターハイは、高校生アスリートにとって、憧れの夢舞台です。選手のみならずには最高のプレーをしてもらえるよう、おもてなしの心でお迎えします。

本県での開催競技日程及び会場

- 総合開会式** 7月28日(火) 和歌山ビッグホール
- 陸上競技** 7月29日(水)～8月 2日(日) 紀三井寺公園陸上競技場
- 剣道** 8月 3日(月)～8月 6日(木) 和歌山ビッグホール
- ヨット** 8月12日(水)～8月16日(日) 和歌山セーリングセンター



陸上競技

- 男子 1500m: 有松慎選手 (桐蔭高校)
- 円盤投: 中本地洋選手 (和歌山工業高校)
- ハンマー投: 宮崎慧二選手 (和歌山工業高校)
- やり投: 横堀雅孝選手 (田辺高校)
- やり投: 谷口健太選手 (橋本高校)
- 女子 1500m: 橋本奈津選手 (神島高校)
- 3000m: 山本明日香選手 (神島高校)
- 走幅跳: 漁野理子選手 (新宮高校)
- 円盤投: 酒井梨々華選手 (紀央館高校)
- やり投: 長麻尋選手 (和歌山北高校)

和歌山県で開催される競技(陸上競技・剣道・ヨット)のインターハイ出場選手が決定しました!

剣道

男子団体: 和歌山東高校、日高高校
女子団体: 和歌山東高校、橋本高校



女子団体: 和歌山東高校



男子420級選手

ヨット

- 男子420級: 星林高校
(高山大智選手・中野翔太選手)
向陽高校
(藤木海舟選手・藤木一誓選手)
和歌山工業高校
(矢野伸一郎選手・山本晟也選手)
- 男子FJ級: 星林高校
(桑原洋樹選手・大伴真太郎選手)

活動紹介

県高校生活動推進委員会

高校生自らが「創り上げた」と実感できるように、県内全ての高校と特別支援学校に「学校高校生活動推進委員会」を組織しました。その代表者が集まる「和歌山県高校生活動推進委員会」の第5回総会が5月25日に開かれました。梶田太陽委員長(橋本高校)から「インターハイまで残り少ないですが、高校生ならではの発想で、和歌山県にしかできないことを頑張ってやっていきましょう。」と挨拶があり、その後、インターハイまでに取り組むこと等について話し合いました。



和歌山県高校生活動推進委員会第5回総会の様子



パレードでPR活動



PRグッズを配布して広報



和歌山ビッグホール周辺の清掃活動

総合開会式 7月28日(火)

「絆・パトン」をテーマに、県内高校生による心を込めた演技でお迎えします。



マーチング練習会



ダンス合同練習会



放送合同練習会

出演校

- 箏** 橋本高校
- 音楽** 那賀高校 和歌山北高校 向陽高校 桐蔭高校
- 和太鼓** 紀北農芸高校
- 少林寺拳法** 笠田高校 向陽高校 神島高校
- マーチング** 星林高校
- 体操** 田辺工業高校
- ダンス** 橋本高校 笠田高校 向陽高校 市立和歌山高校 近畿大学附属和歌山高校
- アナウンス** 橋本高校 桐蔭高校 星林高校 耐久高校 市立和歌山高校

紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会

がんばってます! 式典演技練習

両大会の開会式で、全国から訪れる方々に和歌山県の魅力を伝えられるよう、「紀の国のみち」をテーマに、和歌山の森、海、心、未来といった4つの「みち」をフィールドいっぱいに、ストーリー仕立てで表現します。

演技には、高校のバトン部をはじめ、パレエ・ダンスの団体やよさこいのチームなどの小・中・高校生もたくさん出演します。

4月から紀三井寺公園陸上競技場で合同練習会が始まり、開会式本番で最高の演技を披露できるよう、出演者一同がんばっています。どうぞご期待ください!



「一人一役」 みんなでおもてなしをしよう!

県内全12校の特別支援学校の児童・生徒が中心となり、紀の国わかやま大会へ参加する選手のおもてなしをします。選手一人一人へ贈る手作りの応援メッセージカードや学校オリジナルの大会参加記念品を作成しています。また、各競技会場の歓迎装飾として、参加都道府県・政令指定都市の特色を描いた応援のぼり、たくさんのメッセージなどが書かれた応援旗、そして競技をより一層盛り上げる応援グッズを作成します。その他にも、開・閉会式や各競技会場で選手に声援を送ります。児童・生徒「一人一人」がおもてなしの「一役」を担い、みんなで一体となって大会を盛り上げます。

ホープ紹介



なぎなた競技 少年女子チーム

なぎなた競技



なぎなた競技和歌山県少年女子チームは、昨年行われた長崎国体の演技で第2位、試合で第7位と共に入賞し、今年行われる紀の国わかやま国体に向けて、よい流れを作っています。

練習場所は、国体会場の九度山文化スポーツセンターや県内の各学校など様々ですが、毎日放課後に集まり、気合いの入った掛け声が飛び交う中、集中して練習が行われています。

和歌山信愛高校3年生の岡夕菜選手は、「今年は和歌山県が一つになれるように、技と心をしっかり磨いていきたい。」と力強く語ってくれました。

和歌山信愛高校2年生の南出成美選手は、「かっこよくて美しいところがなぎなたの魅力です。なぎなたが大好きという気持ちを忘れずに練習に励み、ぜひ選手に選ばれて、わかやま国体で優勝したい。」と笑顔で語ってくれました。

ホープ紹介



耐久高等学校 バドミントン部

バドミントン競技



1953年に創部し伝統のある耐久高校バドミントン部は、挨拶やマナー等を重視し、将来社会人として活躍できる人材育成をモットーとしています。

毎日放課後、耐久高校体育館では、なわとびの2重跳び1000回から始まり、気合いの入った練習が行われています。

3年生で男子キャプテンの山田真也選手は、「スピード感あふれるラリーがバドミントン競技の魅力です。国体では選手として出場し、ベスト8に入れるように最後まで頑張ります。」と語ってくれました。

3年生で女子キャプテンの花野里沙子選手は、「国体に向けて、残りの期間で課題を1つでも多く克服していきたい。」と力強く語ってくれました。

和歌山 海プロジェクト



海洋教育の推進

和歌山県の人々は昔から「海」と深く関わりをもち、海から多くの恩恵を受けてきました。海は和歌山の人々の生活に欠かすことのできないものです。

県内の学校では、地域の自然や文化、歴史、偉人などについて学ぶ「ふるさと教育」に取り組んでいます。その一環として、県では「海」に親しみ、「海」を知り、「海」を守り、「海」を利用する「海洋教育」を推進しています。

本年度から文部科学省の研究指定を受けている那智勝浦町立下里小学校、宇久井中学校、串本町立橋杭小学校では、これまで、ウミガメの保護活動や漁業体験、海浜清掃活動、砂浜での造形遊び、磯辺の生き物観察等、多くのことに取り組んできており、これらの取り組みを生かしながら、更なる海洋教育の充実を図っています。

和歌山県では、海を通じて、ふるさとの素晴らしさに気づき、ふるさとを愛し守り育てる意欲や態度の育成、また、海洋環境の保全を図ることができ、人材の育成をめざし、海洋教育の一層の推進を図っていきます。



ヨット体験会を実施しました!

全国高等学校総合体育大会のヨット競技が、今年度から10年間にわたり、和歌山セーリングセンターで開催されることに伴い、「和歌山・海プロジェクト」ヨット体験会を実施しました。

海洋県和歌山の自然環境や和歌山セーリングセンターの充実した施設・設備を活用し、子どもたちの運動機会の拡大を図るとともに、ヨット競技への関心を高めることがねらいです。

参加者の声



風が気持ちいい!



思ったより簡単かも!



友達と競争だ!!

今年度の実施校

平成27年6月19日(金)	広川町立津木小学校
6月22日(月)	紀の川市立打田中学校仙溪分校
6月25日(木)	和歌山市立山口小学校
6月30日(火)	有田市立港小学校
7月 1日(水)	県立和歌山ろう学校
7月 3日(金)	海南市立大野小学校
7月 8日(水)	和歌山市立四箇郷北小学校
7月 9日(木)	和歌山大学教育学部附属小学校

公立中学校3年生が英語検定にチャレンジ!

英語力の向上をめざす

和歌山県では、平成23年度から国際人育成プロジェクトに取り組み、外国の人々と対話できる英語力を身につけた、広く世界で活躍できる人材の育成をめざしています。本年度から新たに、公立中学校の3年生を対象に英語検定を学習指導に活用することとしました。

この取り組みにより、生徒が、英語検定の受験をめざして意欲的に英語学習に取り組むとともに、その結果をもとに、各学校が授業改善を進めることで、生徒一人一人の英語力の向上を図っていきます。

なお、一次試験は、各中学校において、10月9日(金)に行われます。

和歌山県教育委員会ホームページの国際人育成プロジェクト内に実施要領を掲載しています。

※英語検定とは、公益財団法人「日本英語検定協会」が学習指導要領の内容に基づき作成し、実施する「実用英語技能検定」のことです。協会のホームページに、各級の目安(レベル)や過去の問題などが掲載されていますので、参考にしてください。

(<https://www.eiken.or.jp/eiken/>)



公立中学校3年生の保護者の皆様へのご願い ～二次試験[11月8日(日)]の対応を～

英語検定の受験級は、中学校卒業程度の内容を問う3級を基本としています。3級以上は一次試験と二次試験があり、各中学校で実施する一次試験に合格すると、日本英語検定協会が指定する県内の会場で二次試験(英語による面接)があります。英語検定の受験料は県で負担しますが、二次試験については、当日の会場までの交通費等をご負担いただき、保護者の責任のもと受験させていただくこととなります。保護者の皆様には大変ご負担をおかけしますが、本事業の趣旨をご理解の上、ご協力いただきますようお願いいたします。

きのくに 教育めぐり



今回は 高野町



教育長挨拶

平成27年、高野山は弘法大師空海による密教の道場建設から1200年を迎え、大師が残した大いなる遺徳への感謝を込めた絢爛華麗な法会が執り行われました。

期間中、昭和9年に金堂再建とともに仏師高村光雲によって造られ、秘仏となって厨子内に安置された薬師如来が開帳されたり、三大秘法「諸尊仏龕」(弘法大師以前の七祖が密教正系の証として受け継いだもの)、「飛行三鈷杵」(密教の祖で、龍猛菩薩から受け継がれた密教仏具)、「聲磬指帰」(仏教を志した若き日の出家宣言書)が展示されました。それらを地元の児童・生徒にも見せることができ、普段は身近にあるからこそ感じていないかもしれない「高野山」の魅力を気づかせるよい機会となりました。50日間、高野山を訪れてくれた人は60万人、日によっては町の人口の10倍とも20倍ともなった山の賑わいを、子どもたちはどのように感じたことでしょうか?

このように、高野町教育委員会では、郷土の自然や文化を愛する心を養い、地域の人々とのふれあいを深めること、豊かな心と社会性を育てること、自ら学ぶ意欲と考える力を育成することなどを基本方針とし、社会の変化を把握し、課題に向き合うたくましい力を持った児童生徒の育成をめざしています。

高野町教育委員会 教育長 角濱 正和

交流

高野町でも人口減少、過疎化・少子化が進んでおり、小規模校及び過小規模校しかありません。そのため、各学校では少人数のメリットを生かした教育、少人数がハンデとにならない教育を実践しています。そのための工夫の一つとして「交流」をキーワードにしています。

地域との交流

ちまきづくり・高野町立富貴小・中学校



高野町立富貴小・中学校では、へき地小規模校の特性を生かし、地域や家庭と連携し「ふるさとふれあい学習」を実践しています。学習の中心となるのが「ちまきづくり」です。

今年も6月3日に「ちまきづくり」を行いました。この地域では昔から、田植えが終わった「田植え休み」(旧の端午の節句)に、どの家庭でもちまきを作って祝ったようです。また、若嫁さんはちまきをみやげに里帰りするならわしもありました。しかし最近では、「ちまきづくり」をする家庭も少なくなってきました。そこで、ふるさとに伝わる良き伝統を体験し、地域に暮らす人々の思いを知り、生活様式や考え方の変遷を知ることで、自分たちの生活をふり返り、ものの見方や考え方、人間としての生き方を学ぶきっかけになればと考え、27年前に始めた活動です。

ふるさとの人々に支えられ、保護者や地域の方々にご指導いただき、「ふるさとふれあい学習」として充実感を味わえる体験となっています。できあがった「ちまき」は、ふれあい手紙を添えて、ひとり住まいのお年寄りの方などにお届けしています。どのお宅からもあたたかいお礼の言葉をいただき、何とも言い表すことのできない喜びを「ちまき」とともに味わっています。

他校との交流

和歌山大学教育学部附属小学校との交流 …高野町立高野山小学校



高野町立高野山小学校のような、少人数の学校では、人間関係が固定化されやすく、コミュニケーション力不足等が懸念されることから、平成10年から和歌山大学教育学部附属小学校との交流を実施し、他校の児童とのコミュニケーションを通して対人関係の大切さを学ばせています。

毎年6月に、附属小学校の4年生が高野山へ林間学校に訪れます。その機会に高野山小学校4年生がグループに分かれ、高野山の歴史や文化を説明しながら山上を巡ります。11月には附属小学校の児童に和歌山市内を案内してもらい、給食も一緒に食べながら交流を深めています。

交流学習では、普段生活している相手とのつきあい方とは違ったことが求められます。自分の伝えたいことを伝えるために、よい意味で相手に合わせてコミュニケーションする内容を吟味したり、方法を工夫したりする必要があります。

それらの重要性に気づく機会を得たことは、子どもたちにとってよい経験となり、教職員は、自分の考えを相手に伝えられる児童が増えてきていることを実感しています。



共育コミュニティ 学校・家庭・地域の様々な立場の大人が、子どもたちの豊かな育ちを支え、同時に大人同士も育ち合う取り組みです。

今回は、**白浜町**での共育コミュニティづくりを紹介します。

白浜町では、「輝く しらはまっ子 共に育てよう」を合い言葉に、学校を単位に町全体で共育コミュニティの理念を大切にしたい取り組みを進めています。活動内容は、各学校によって様々です。学校が地域の行事に参加したり、地域住民が学校運営に協力したりするなど、学校と地域にとって必要な取り組みについて話し合いながら活動を進めています。

外部人材・ボランティアの積極的な活用 白浜町立日置中学校の取り組み

日置中学校では、外部人材・ボランティアとして40名以上の方が登録してくれています。

技術科の木工の授業では地域の木工さん、家庭科の裁縫の授業では地域のお母さんたちがボランティアとして参加してくれています。そのほか、学校図書館の運営、校舎周辺の美化活動、学習指導や部活動の指導など、様々な場面で地域の方々子どもたちと関わってくれています。

また、2学期以降の水曜6時限目は、地域の方が3年生のために特別体験授業を行っています。外部講師として「その道の達人」といわれる方が授業をしてくれます。質の高い文化に触れる機会となり、生徒たちは毎回、意欲的に授業に参加しています。

学校も支援を受けるだけでなく、校区内の清掃活動をしたり、学校行事に地域の方を招待したりするなど、地域貢献を行っています。このような学校と地域の関係に、ボランティアの方

からは「学校や子どもたちの役に立てて、地域の一員として貢献できることに喜びを感じています。」との声をいただき、学校運営の中に地域の活動が定着してきたと感じています。今後も、子どもも大人も共に育ち、育て合い、地域のつながりを強くし、まちづくりにつなげることをめざして、学校と地域が協力した取り組みを進めていきます。



家庭科の裁縫の授業



木工さんによる木の切り方の実演



理科「圧力の実験」の授業



進路学習「生き方について」の授業

スポーツで地域を元気に!

住民の住民による住民のための「総合型地域スポーツクラブ」をめざして

第9弾 しらはま温泉スポーツクラブ
問い合わせ先：
しらはま温泉スポーツクラブ事務局
080-8942-1749

私たちのクラブは、平成27年3月に設立し、白浜中学校区を中心に活動している会員約70名のアットホームなクラブです。白浜第一第二小学校で開催している放課後スポレク教室を中心に、7種目の教室を実施しています。設立して間もないため、現在は子どもたちを対象とした教室を中心に活動していますが、今後は地域の方々のニーズに応えるべく、幅広い年齢層を対象としたプログラムを準備し、活動を広げていきたいと考えています。

「身体を動かしたいけど、一人ではちょっと…」と考えている方は、ぜひ**スパスポ**※へ!

※**スパスポ**は、しらはま温泉(スパ)スポーツクラブの略です。



夏休みイベント紹介

いずれも、休館日は月曜日(祝日の場合は翌平日)入館料は高校生以下は無料です。※詳しくは各館のホームページをご覧ください。

県立近代美術館 和歌山市吹上1-4-14 ☎073-436-8690

企画展「なつやすみの美術館5 つぶやきおはなしものがたり」

会期 7月14日(火)~8月30日(日)

県立博物館 和歌山市吹上1-4-14 ☎073-436-8670

企画展「わかやま城探検」会期 7月18日(土)~9月6日(日)

県立紀伊風土記の丘 和歌山市岩橋1411 ☎073-471-6123

夏期企画展「岩橋千塚の前方後円墳」会期 7月22日(水)~8月30日(日)

県立自然博物館 海南市船尾370-1 ☎073-483-1777

特別展「水辺で生きる昆虫-和歌山の水生昆虫大集合-」

会期 7月18日(土)~8月30日(日)

県立図書館 和歌山市西高松1-7-38 ☎073-436-9500

「第22回手づくり紙芝居コンクール」作品募集 応募期間 7月23日(木)~9月9日(水)

※郵送の場合は、9月9日(水)の消印有効 ※詳しくは、県立図書館ホームページをご覧ください。

県立博物館 高野山開創1200年記念特別展

平成27年
9月19日(土)
11月1日(日)

弘法大師と高野参詣

この特別展では、弘法大師空海の様々な姿を紹介します。これだけ多くのお大師様を拝めるのは、この機会だけかもしれません。また、展示では、高野山へ参詣した人々(天皇や貴族・武士・庶民など)の様子や、道すがらに残された文化財を紹介します。この特別展を見ることで、高野山へのお参りを博物館で味わうことができます。しかも、いろいろなルート(高野七口)でのお参りが一回でできてしまいます。

この機会にぜひ県立博物館で高野参詣をしてみませんか?

前売券を県立博物館で発売中! 一般800円(当日券は1,000円)

詳しくは、県立博物館へお問い合わせください。
TEL:073-436-8670

ゴールデンキッズ発掘プロジェクト

各種の体力測定により、県内の優れた素質を有する子どもたちを早期に見出し、発達段階に応じた「育成プログラム」を展開することで、将来オリンピックをはじめとする国際舞台で活躍できる競技者を育成します。

本年度も小学校3、4年生を対象にゴールデンキッズ体力測定会の参加者を募集します。たくさんのご応募お待ちしております。

募集期間 平成27年 9月1日(火)~10月13日(火)

体力測定会日程

第1ステージ 平成27年11月21日(土)白浜町立総合体育館
11月28日(土)和歌山ビッグウエーブ
11月29日(日)和歌山ビッグウエーブ
第2ステージ 平成28年 1月31日(日)和歌山ビッグホール

問い合わせ先：
和歌山県教育庁生涯学習局スポーツ課
TEL:073-441-3753

リサイクル図書寄贈ボランティア活動

~子どもの読書応援団~

県教育委員会では、県内の公立小・中学校・特別支援学校の読書活動を支援するため、県民のみなさんに、読み終えた図書を寄贈していただくボランティア活動を呼びかけています。多くの方々にご協力いただきますようお願いいたします。

1 寄贈図書について

- 寄贈図書は、雑誌、コミックマンガ以外の小学生又は中学生対象の本とします。小学校へは小学生向け、中学校へは中学生向け、特別支援学校へは小学生・中学生向けの本を寄贈してください。
- 寄贈図書の数量は問いませんが、汚れや破損のある本は除いてください。
- 寄贈された後の図書の取扱い(廃棄を含む)については、学校に一任ください。

2 寄贈先学校情報について

リサイクル図書を希望する学校の情報を検索していただけます。

リサイクル図書寄贈ボランティア活動

3 寄贈手順について

- 寄贈者は、直接学校へ電話かメールで、寄贈意思や冊数、配送方法等をお伝えください。
- 配送は、寄贈者が行うことを基本とします。学校へ持参または配送してください。(送料は、寄贈者がご負担ください。)

4 問い合わせ先

和歌山県教育庁生涯学習局生涯学習課企画調整班
(☎073-441-3720)(土・日・祝日除く)(FAX 073-441-3724)
メール e5006001@pref.wakayama.lg.jp



教育長
工 ツ セ イ
教育長 宮下 和己

「輝く! 紀の国の教育」 ～ふるさととは つねに微笑む(県民歌)～

表題は、この教育広報紙の新たな名称です。これまで「きこら」として親しまれていましたが、今年度は和歌山がひとときを輝く年であり、未来に向かって本県の教育をさらに輝き続けさせたいということから改名されました。

今年は7月28日から、高校生スポーツ最高の祭典「全国高等学校総合体育大会」が本県を中心に近畿各府県を舞台に

開催され、ビッグホールの総合開会式では、選手だけでなく本県の多くの高校生が参加し元気に躍動します。さらに、秋には「紀の国わかやま国体」・「紀の国わかやま大会」が開催されます。こうした機会は、和歌山の子どもたちが、おもてなしの心や郷土への誇りを実感する絶好のチャンスです。県外から来られた方々が和歌山での素晴らしい体験を記憶に残し、心から喜んでいただける大会となるよう県民一体となって取り組んでいきましょう。

子どもたちが安全・安心な学校生活を送り、確かな学力と健やかな体、思いやりの心や感謝の心を育み、変化の激しいこれからの時代をたくましく生きる社会人へと成長することは、県民の皆様の願いであり、知・徳・体を基盤とした、人間としての総合力の育成は私のめざすところで

す。また、少子高齢化への対応、教育の機会均等の確保、生涯学習の推進等が、極めて大きな課題となっています。

和歌山県民歌の歌詞に、「人の和と文化を添えて」というフレーズがあります。和歌山の「和」は協力し合う「和」、調和の「和」、たし算の「和」です。教育関係者はもとより、すべての人の力が結集したとき、和歌山の教育はよりよいものになると確信しています。私は、教育における不易と流行をしっかり見極め、ふるさと和歌山を愛する心をエネルギーにして、「和」の力、「チーム和歌山」で、夢と希望の持てる和歌山の教育の創造に取り組んでまいります。

「夢は人を輝かせ 希望は人を大きくする」、私の大切にしている言葉です。

奨学のための給付金(高校生等奨学給付金)制度について

高校生等の授業料以外の教育費負担を軽減するため、平成26年度以降の入学者のうち市町村民税所得割が非課税の世帯に対し、奨学のための給付金(高校生等奨学給付金)を給付します。

1. 申請期間 平成27年7月1日(水)～平成27年7月31日(金)

2. 対象

平成27年7月1日現在、以下の要件を全て満たしている方(世帯)

- ①保護者(親権者)等が生活保護を受給又は、市町村民税所得割額が0円(非課税)であること
- ②保護者(親権者)等が和歌山県内に住所を有していること
- ③高校生等が高等学校等就学支援金受給の資格を有する者であること
- ④高校生等が平成26年度以降の入学者であること
- ⑤高校生等が高等学校等就学支援金の対象校に在学していること

3. 申請方法

- ・県内の学校へ通学されている方は学校を通じて、提出してください。通学されている高等学校等で申請書を受け取り、必要書類を添付のうえ学校へ提出してください。
- ・県外の学校へ通学されている方は県へ直接申請してください。申請書は下記問い合わせ先で直接入手するか又は郵送を希望される場合、下記問い合わせ先までその旨連絡してください。申請書等は県のホームページからダウンロードできます。

問い合わせ先 【公立】県生涯学習課 奨学班 ☎ 073-441-3663 【私立】県総務学事課 総務・文教班 ☎ 073-441-2108

まず逃げよう!

自分と他人の命を守るため

県教育委員会では、自然のもつ二面性(恩恵・災害)を理解し、ふるさとを愛し、いざという時、行動できる子どもたちを育てるために、防災学習や避難訓練などの防災教育に取り組んでいます。

ひとたび災害が発生したその時には、津波避難3原則

「想定にとらわれない」

「最善を尽くせ」

「率先避難者になれ」

(群馬大学大学院教授 片田敏孝氏 提唱)

を思い出して、まず逃げるようにしましょう。

11月5日は
津波防災の日

津波避難 3原則

やっぱり大切!大人も子どもも「早ね・早おき・朝ごはん!」



子どもの笑顔は正しい
「生活リズム」から!

- ①朝おきたら、おひさまの光をあびましょう。
- ②朝ごはんをしっかり食べましょう。
- ③昼間はしっかり運動!勉強!
- ④夜のテレビやゲームは時間をきめて!
- ⑤夜は8時半ごろから「ねる用意(ねかせる用意)」をしましょう。



やっぱり大切!「早ね・早おき・朝ごはん!」ガイドブックは、県教育委員会のホームページでご覧いただけます。

教育テレビ番組
はばたく紀の国
～教育は多～

平成27年9月～平成28年3月、第1・3日曜日
(予定)の午前10時30分～
10時50分にテレビ和歌山で
放送します。
どうぞ、お楽しみに!



教育広報
ラジオ放送
定期便
教育の窓

放送日時 第2、第4土曜日 8:45～9:00

学校や地域の特色ある取り組みなどを取り上げながら番組を制作し、和歌山放送で放送しています。

和歌山県教育委員会事務局 総務課

〒640-8585 和歌山市小松原通1丁目1番地
TEL.073(441)3641 FAX.073(432)4517

和歌山県教育委員会では、今回紹介した内容以外にも、様々な取り組みを行っています。詳しくは、和歌山県教育委員会のホームページをご覧ください。また、皆さまのご意見・ご要望をお待ちしています。

和歌山県教育委員会

検索

